医療機関のための災害安全教育セミナー2012

--- 震災から学ぶ大災害のリスクマネージメント ---

会 場： 2012年3月9日(金)～10日(土)
会 場： 東京大学医学部2号館本館3階大講堂 （定数300名）
東京都文京区本郷7-3-1。地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩10分。東大赤門近く。
主 催： 国際予防医学リスクマネージメント連盟

受講対象者: 学会員、医療機関の従事者、医療産業界関係者、マスメディア、その他。

趣旨: 本教育プログラムは、地震、津波、原発事故など各種の大災害に対して、全国の医療機関が事前に備えるべきリスク対策、および大災害時の緊急時対策がどうあるべきかを東日本大震災の事例から学習します。併せて、各種の大災害の発生メカニズムの紹介が日本を代表する各界の第一人者によって行われます。大災害の実例およびメカニズムを知ることにより、各地の実情にあった医療機関の危機管理システムの構築を行います。2日間受講のみご参加できます。

2012年3月9日(金) 午前10時～午後5時
(大災害のメカニズムと病院の危機管理)

第一部「東日本大震災における医療活動報告」
午前10時5分～午前10時55分 **石巻医療圏における東日本大震災への対応** 石井 正（石巻赤十字病院）
午前11時5分～午前12時 （基調講演） **東日本大震災を考える－福島県の医科系大学のトップとして**
菊地臣一 （福島県立医科大学 理事長・学長）

第2部 **教育講演会 (1) 「大災害の発生メカニズム」**
午後1時～午後1時40分 **地震の発生メカニズム** 纐纈 一起（東大地震研究所 教授）
午後1時40分～午後2時20分 **津波の発生メカニズム** 佐竹 健治 (東大地震研究所 教授）
午後2時20分～午後3時 **原子力炉事故の発生メカニズム** 田中 知（東大原子力国際専攻 教授）
午後3時10分～午後3時50分 **火山の発生メカニズム** 中田節也（東大地震研究所 教授）
後3時50分～午後4時30分 **都市型火災の発生メカニズム** 山田常圭（東大都市工学科 教授）

午後4時35分～午後5時 講演 **災害派遣医療チーム(DMAT)の活動とは** 近藤久禎（厚労省災害医療対策室）

2012年3月10日(土) 午前9時～午後4時
(大災害に強い病院のハードとソフト)

第3部 **教育講演会 (2) 「大災害での人体など被害プロセス」**
午前9時～午前10時20分 **放射線の人体影響とは** 大津留 昌(福島県立医科大放射線健康管理学 教授)
午前10時30分～午前12時 **地震の被害と対策** （仮） 目黒公郎 (東大生産技術研究所 教授)

第4部 **シンポジウム 「大災害に強い病院のハードとソフト --- 東日本大震災に学ぶ」**
午後1時～午後1時25分 **被災地の医師の立場から** 高津政臣(宮城厚生協会 坂総合病院副院長)
午後1時25分～午後1時50分 **被災地の歯科診療から** 服部佳功（東北大学歯学部准教授）
午後1時50分～午後2時15分 **被災地の看護・感染制御** 西條美恵 （石巻赤十字病院）
午後2時15分～午後2時40分 **大災害時の法医と病院の連携** 藤田眞幸（慶応大法医学 教授）
午後2時50分～午後3時15分 **医薬品供給・備蓄システムの構築** 高山和郎（東大病院薬剤部）
午後3時15分～午後3時40分 **緊急時医療バックアップシステム、地域医療連携の情報管理** （講師選考中）
午後3時40～午後4時 総合討論

参加申込締め切り: 2012年3月5日

定数になり次第、締め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

医療機関のための災害安全教育セミナー2012
事務局

国際予防医学リスクマネージメント連盟本部
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
〒113-0033 東京都文京区本郷4-36-2-103
(Tel / Fax) 03--3817-6770
(電子メール) urmpm-head@umin.net

研修会ホームページ　http://www.urmpm.org/J/Dister2012/